

解散したクラブの会員サポート体制を構築

神戸市中央区 ポー住宝寿会 会員数 124名

● 地域支援活動を通じて行事を案内

市老連が掲げる6つの目標の中で、「会員減少がつづくクラブは減少傾向に歯止めをかけよう」「年間1クラブ、2～3名の増を目指そう」という2つを中心に据え、以下の取り組みを行いました。

- ①活動地域が集合住宅である利点を生かし、高齢者見守り活動などの地域支援活動を通じて、クラブの行事への参加募集活動を実施。
- ②近隣老人福祉施設で友愛・奉仕活動を実施。



老人福祉施設で合唱等披露

③ふれあいコーナーを月2回開催し、脳トレーニングや体操などを実施。会員同士のコミュニケーションを図るとともに、会員以外の方の参加も募った。

④役員や会員が各行事の内容や感想を話し、口コミによる入会促進を図った。

● 取り組みを通じ、会員の意識も向上

「100万人会員増強運動」の取り組みを通じて、毎年着実に会員が増え、5年間で21名の会員が増加しました。会員同士がよりよいコミュニケーションを図ることでクラブが活性化し、その中で口コミによる勧誘活動を行ったことが会員増強につながったと思います。また、会員の意識が向上したことで、周辺でクラブの解散があった場合、他のクラブと連携をとりながら、解散したクラブの会員の受け入れや相談に応じる体制もでき上がりました。